

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒場線へとつながる西部交通ネットワークの再構築からまちづくりへと連携する事業
事業主体 (連絡先)	阿智村 0265-43-2220(代表)
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,420,000 円

事業内容

地域住民のニーズに合わせた路線へ再編するため、住民アンケート及び乗込み調査、運行委託事業者へのヒアリングにより路線体系の見直しを行いました。

- ・住民アンケート(全世帯)
参加者数:配布2,274世帯、回収1,899名
- ・乗込み調査、運行事業者ヒアリング(10月30日実施)
参加者数:バス利用者60名、委託事業者5名
- ・住民説明会(計4回)



【バスへの乗込み調査の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

地域にとって課題であった不便なバス路線の解消に向けて住民の意見を踏まえた検討を重ね、長時間の運行となっていた伍和地区と智里東地区を結ぶ伍和・智里東線の分割を行った。伍和地区のバス利用者の少ない一部地区には予約制の乗合タクシーの導入をすることで伍和地区の利便性の低下を防ぎつつ、利用者数の多い他地区の住民のバス乗車時間の短縮が達成でき、地域全体の交通ネットワークの利便性向上に繋げることができた。

地域住民のニーズに合わせた路線へ再編する。

※自己評価【 B 】

【理由】

地域住民の意見をくみ取ることで住民ニーズに沿った交通ネットワークの再構築をすることができた。

今後の取り組み

今後、地域公共交通協議会での協議が整い次第、国土交通大臣に申請し、新路線・時刻表での運行を開始する予定である。新路線運行開始後は、利用者数の推移等から、路線分割や予約制運行への転換の効果、他地区への応用について検討していく。